

令和3年 第832回小浜市教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和3年6月28日(月)		開会 15:30 閉会 16:15		
開催場所	市庁舎4階 401会議室				
出席委員	窪田教育長	山崎職務代理者	上田委員	村上委員	桂田委員
欠席委員					
事務局	教育部長	教育部次長 (生涯学習スポーツ課長)	教育総務課長	古跡GL	福田GL
	出口GL	高鳥GL	小坂企画主査	上林指導主事	
傍聴者					
会 議				会議の結果	

**委員会開会**

(教育長) 宣言および開会あいさつ

- ・県内の新型コロナウイルス感染状況

**1 会議録の承認について**

第831回教育委員会定例会会議録《承認》

**会議録署名人2名の選任**

第832回教育委員会定例会会議録署名委員選任《村上委員、桂田委員》

**2 報告**

- ・報告第9号 諸般の報告 令和3年5月28日～令和3年6月27日
- 行事予定 令和3年6月28日～令和3年7月31日《承認》

(山崎職務代理者) 6月9日の若狭高校で教育長が講義をした探求学習は、どのような内容であったのか。

(事務局) 1年生は、今後3年間をかけて探求学習を行っていくということで、1年生の間に取り組む課題設定の第1回目の授業に参加した。小浜市の教育について考えるヒントとして、学校における働き方改革や時代を担う子どもたちに求める資質・能力などを中心に述べてきた。後ほど生徒から寄せられた感想などを見ると、講義の内容をしっかりと捉えられていると感じた。

### 3 議案

- ・議案第19号「押印を求める手続き等の見直しに伴う関係規則の整備に関する規則の制定について」

《承認》

- ・議案第20号「押印を求める手続き等の見直しに伴う関係訓令の整備に関する訓令の制定について」

《承認》

- ・議案第21号「成年年齢引き下げ後の成人式の在り方について」

《承認》

### 4 教育長報告

- ・新型コロナウイルス感染症に係る対応について

学校教職員へのワクチン接種は、教員のほか、学校生活支援員や給食調理員など学校教育に携わるすべての職員を対象に優先接種を行う。県では、できるだけ夏季休業中に終わることが望ましいという基本方針を示している。本市では、7月以降の授業等に支障が出

ないようにすることを考慮し、2回のワクチン接種を夏季休業中に完了できるよう現在調整している。具体的には7月3日からワクチン接種を開始し、7月17日までに1回目の接種を完了する予定である。2回目の接種は、1回目の接種から3週間の期間を開けて実施することとするため、接種希望者全員が夏季休業中に接種できる予定である。

12歳から16歳未満までの小学校6年生児童および中学校生徒のワクチン接種は、59歳以下の方と同様の手続きをすることになっているため、市の方針である個別接種および集団接種により、接種することになる。この児童生徒の接種についても夏季休業中の完了を目指しているが、学校での集団接種は実施しない。12歳の小学生の接種は、保護者と同伴することが義務付けされている。12歳以上の中学生は、保護者の同意があれば生徒単独で接種することができる。

プール学習、夏季休業中のプール開放および遠泳大会については、3密回避など感染防止対策の徹底を学校で検討し、PTAとの共通理解を図った上で、実施の有無を判断することを指示している。現時点では、プール学習は、全小中学校で実施し、夏季休業中のプール開放は、内外海小学校、中名田小学校、加斗小学校の3校は実施する予定であると聞いている。また、遠泳大会は、西津小学校と内外海小学校の2校が実施する予定であると聞いている。

・学校管理職の危機管理に係る組織マネジメントについて

学校が持つ大きな問題点として、学校が「自己完結型」で、「個業型組織」という点が挙げられる。授業や学級経営などを自分の責任ですべて解決していこうとする傾向にあり、自分の中で解決できない事案があっても、他の教員には全く伝わらず、気付いたときには、解決策が見出せない状況となっていることがある。学校における重大な問題は、学級を超えたところに原因があることが多いと思う。このことから「協働型組織」に変えていく必要がある。そのためには、管理職の組織マネジメント力が強く求められることになる。問題が起こる初期の段階で、重大事案とならないように日頃から校内で情報をオープンにし、

協働して課題解決に取り組む組織として、管理職の組織マネジメント力を発揮してもらいたいと各校長に対して指示する。

## 5 その他

《なし》

## 委員会閉会

(教育長) 宣言

小浜市教育委員会議事録署名委員

委員 村上郁子 教育委員

委員 桂田理津子 教育委員